
モテない俺の恋愛事情

人知らず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モテない俺の恋愛事情

【Nコード】

N5719V

【作者名】

人知らず

【あらすじ】

これは作者の本当にあつた奇跡の恋の話です。

つまらないと思うかも知れませんが

作り話だと思いかもしれませんが

ですが、これは俺本当にあつた話です！

一度目の恋 第一幕 俺の初恋（前書き）

これは俺が中学一年のときからの三年間に付き合った三回の恋の物語
純粹というか・・・

バカバカしいというか・・・

切ないというか・・・

とにかく中学生の俺が体験した普通ならあり得ないはずの物語
まずは第一の恋から

一度目の恋 第一幕 俺の初恋

俺の一回目の恋は中学一年の二学期の初め

俺の通っていた中学は県内で新聞にも載るほどの不良校で廊下に出るとタバコと香水が混ざった臭いがするような学校だった。

そんな中で彼女のことを好きになったのは何でだったんだろう？

クラスの端っこで基本的に本を読んで休み時間を過ごしていた。

だからといって一人でいるわけじゃなくいつも誰かと一緒にいる。

特に目立つところの無い彼女のがなぜか俺は気になっていた。

当時の俺は目立たず、優等生を気取った暗い奴だった。

先生は知らなかったが俺はその時、不良グループにこっそりと参加することが時々あった。

そんな俺は自分にコンプレックスを持ちまくりで自信を持つなんてありえない

そんな俺が彼女と始めて話した言葉は何だったっけ？

気軽な「おはよう」だったかもしれないし

体育祭で自分のクラスが準優勝したときに笑顔でいった「めっちゃうれしい！！」だったかもしれない

クラスメイトとしてだけの関係だった俺と彼女だったが体育祭が終わった三日後

俺は人生初の告白をした。

一度目の恋 第一幕 俺の初恋（後書き）

ご意見・ご感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5719v/>

モテない俺の恋愛事情

2011年10月8日10時16分発行